

試 験 報 告 書

依 頼 者 C R S 株 式 会 社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 速攻 CleanClean

表 題 アレルゲン不活化試験

2020 年 11 月 02 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

アレルギー不活化試験

1 依頼者
CRS株式会社

2 検体
速攻 CleanClean

3 試験概要
検体にアレルギー溶液を添加，混合し(以下「試験液」という。)，所定時間後に試験液中のアレルギー濃度をELISA法により測定した。また，あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い，検体の影響を受けずにアレルギー濃度を測定できる条件を確認した。

4 試験結果
結果を表-1に，試験条件を表-2に示した。
なお，試験液をスギアレルギーはELISAキット付属の緩衝液，ダニアレルギーは1%ウシ血清アルブミン及び0.05%ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水で希釈する中和条件により，検体の影響を受けずにアレルギー濃度の測定ができることを確認した。

表-1 試験液のアレルギー濃度測定結果

試験 アレルギー	対 象	アレルギー濃度 (ng/mL)			
		開始時	30秒後	1分後	5分後
スギ アレルギー	検 体	—	<4.0	<4.0	<4.0
	対照(精製水)	570	—	—	550
ダニ アレルギー	検 体	—	<0.6	<0.6	<0.6
	対照(精製水)	92	—	—	89

<0.6及び<4.0：検出せず

保存温度：室温

表-2 試験条件

試験アレルゲン	スギアレルゲン：精製スギ花粉抗原Cryj1[株式会社 林原] ダニアレルゲン：精製ダニ抗原Derf1[INDOOR biotechnologies LTD.]
アレルゲン溶液	スギアレルゲン 調製溶液：0.05 %ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水 濃度：60 $\mu\text{g/mL}$ (理論値) ----- ダニアレルゲン 調製溶液：0.05 %ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水 濃度：10 $\mu\text{g/mL}$ (理論値)
試験液	検体1 mLにアレルゲン溶液10 μL を添加
保存条件	30秒, 1分, 5分(室温)
中和条件	スギアレルゲン：ELISAキット付属の緩衝液で5倍希釈 ダニアレルゲン：1 %ウシ血清アルブミン及び0.05 %ポリソルベート20 (Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水で2倍希釈
対照	精製水
ELISA 測定	スギアレルゲン：レビス Cryj1 ELISA Kit [富士フイルムワコーシバヤギ株式会社] ダニアレルゲン：Derf1 ELISA kit(6A8/4C1) [INDOOR biotechnologies LTD.]

以 上